

# 社会貢献

良き企業市民として真に豊かな社会の実現に貢献するとともに、  
地域社会と良好な関係をつくり上げます

## 2009年度注力ポイント

- 「OKI愛の100円募金」の安定運用に向けた検討
- 国内外での地域貢献活動の強化

## 2009年度の状況

- 「OKI愛の100円募金」による支援内容および支援基準を再検証
- 群馬・長野で森林ボランティア活動の継続実施を決定
- 海外で新たな地域貢献活動を実施

## 2010年度注力ポイント

- 「OKI愛の100円募金」の継続的な運用
- 自治体・NPOなどとの協働による国内外での貢献活動強化

## 社会貢献の基本理念と活動体系

OKIは、1996年に社会貢献推進の専任組織を設置し、基本理念・基本方針を制定しました。OKIグループはこの理念・方針に則り、寄付や保有施設の開放、社員のボランティア活動支援などを組織的に推進しています。

ボランティア活動には、月々の募金による寄付型の活動と、社会福祉や環境保全などに関連する参加型の活動があります。また、より幅広い活動を行うために、各種の非営利組織(NPO)と広く交流・協働しています。

## 寄付型ボランティア活動 「OKI愛の100円募金」

「OKI愛の100円募金」は、活動の主旨に賛同するOKIグループの役員・社員から毎月100円の募金を集める寄付型ボランティア活動で、2009年度末時点で、OKIグループ32社の役員・社員が参加しています。2006年度に一口を100円として一人最大3口まで寄付額を選択できるような制度を変更するなど、資金の安定確保と安定的な運用に向けた工夫を継続してきており、2009年度は支援内容および支援基準の再検証を行いました。

### ● 「OKI愛の100円募金」 2009年度活動実績

|                        |                          |
|------------------------|--------------------------|
| 日本赤十字社への献血運搬車寄贈        | 300万円<br>(マッチングギフトによる総額) |
| 重度障がいがある方の在宅就労支援事業への寄付 | 100万円                    |
| 社員が関わりをもつボランティア団体の支援   | 232万円<br>(23団体を支援)       |

### 日本赤十字社に献血運搬車を寄贈

OKIグループは、1962年に日本企業ではじめて企業集団献血を行ったパイオニアとして、日本赤十字社の血液事業を支援しています。1996年からは「OKI愛の100円募金」の募金総額に会社が同額



秋田県赤十字血液センターに寄贈した献血運搬車(2010年2月)

を上乗せするマッチングギフトの手法を活用して、毎年各地の血液センターに献血運搬車などを寄贈しています。

2009年度は、秋田県赤十字血液センターに対して保冷庫付きの献血運搬車を寄贈し、同社への車両寄付台数は通算で20台となりました。

## 社会貢献活動 基本理念・基本方針

### 基本理念

良き企業市民として真に豊かな社会の実現に向けて、考え、行動し、共感を得る社会貢献活動を実践する。

### 基本方針

- 会社の活動  
会社の資源(人材・資産)を活用し、地域や国情に合った社会貢献活動を継続する。社員が誇りと活力を実感し、また企業イメージを高めるOKIらしい社会貢献活動を志向する。
- 個人の活動  
社員一人ひとりの人間性の発露としてのボランティア活動を推奨し、支援する。

### スローガン

できることから始めよう!

## 社会貢献

### 社員が関わりをもつボランティア団体を支援

OKIグループは、社員や社会貢献推進担当部門の申請に基づいて、社員と関わりをもつボランティア団体に「OKI愛の100円募金」による資金援助を



ミニ紙芝居「これはジャックのたてたいえ」

行っています。2009年度は、「世界の全ての人々が健康に暮らせるようになること」を理念に途上国の医療支援を行う特定非営利活動(NPO)法人ピープルズ・ホープ・ジャパン、障がい者やその家族の地域社会での自立などをめざした生活サポート事業を行うNPO法人レスパイトゆうなど、計23団体を支援しました。

なお2009年5月には、NPO法人ラオスのこどもが「OKI愛の100円募金」の支援により作成したミニ紙芝居「これはジャックのたてたいえ」が、ラオスで現地出版されました。

## 参加型ボランティア活動

### 「全国学校ビオトープ・コンクール2009」

#### 発表会の運営を支援

OKIグループは2010年2月13日に東京・津田ホールで開催された「全国学校ビオトープ・コンクール2009」発表会(主催:日本生態系協会)の運営を支援しました。



動画配信用の撮影

このコンクールは、学校ビオトープ<sup>※</sup>の優れた実践例を広く全国から収集・紹介し、環境教育の推進や自然と共存する地域づくりに貢献することを目的に、1999年から隔年で開催されており、OKIは2001年から継続的に支援しています。今回は発表会の様子を教材としてウェブサイト動画配信するための撮影を行ったほか、会場に展示された入賞校31校のポスターをOKIデータのカラーLEDプリンタで縮小プリントし、来場者に配布するサービスを行いました。

<sup>※</sup>学校ビオトープ：自然のしくみや自然と共存するための知識・技能を体験的に学習する環境教育の教材。

### 森林ボランティア「OKI 山と緑の協力隊」の活動

OKIグループでは、社員・家族が参加する「OKI 山と緑の協力隊」を結成し、地域の森林の整備を行うとともに、地元の方々との交流を深めています。

2009年度は、長野県小諸市の「OKIグループが育てる森」および静岡県伊豆市の「OKIグループ伊豆の森」で各2回、また群馬県高崎市の観音山にある「OKIグループふれあいの森」で1回、除伐・間伐などの活動を行い、延べ228名の社員や家族が参加しました。これらの活動はそれぞれ、小諸市、伊豆市およびNPO法人地球緑化センター、群馬森林管理署との協定に基づき実施しているものです。このうち小諸市と高崎市については同年度が協定の最終年度となりましたが、これまでの活動実績をふまえ、2010年度以降も活動を継続することを決定しています。



長野県小諸市との「森林(もり)の里親協定」継続に伴う協定式(2010年2月)



「OKIグループふれあいの森」にて

### 昔ながらの遊びを通じた貢献活動

OKIグループは1999年度からほぼ毎年、児童養護施設の子どもたちを招いて「竹とんぼ大会」を主催しています。2009年度は「国際竹とんぼ協会」お



「江戸糸あやつり人形」の公演

よび「江戸糸あやつり人形」の協力を得て、11月7日に東京都府中市の「郷土の森博物館」において「竹とんぼ&あやつり人形大会」を行いました。招待した12名の子どもたちはOKIグループのボランティアとともに竹とんぼやあやつり人形をつくって遊び、「江戸糸あやつり人形」の公演も鑑賞しました。

## ラオス語絵本をつくって現地に寄贈

OKIグループはNPO法人「ラオスのこども」の協力を得て、「ラオス語絵本をつくってラオスの子どもたちに送ろう!」というイベントを毎年実施しています。日本語の絵本にラオス語の翻訳を貼ってラオス語絵本をつくるほか、ラオスにまつわるクイズなどを通じて、現地の文化への理解を深めています。

2009年度は、OKIグループの社員と家族、「ラオスのこども」の研修旅行に参加する学習院女子大学の皆さんなど39名が参加し、過去最高となる71冊の絵本を完成させました。これまで10回の活動で作成したラオス語絵本は計539冊となります。



自分でつくったラオス語絵本を手に記念撮影

## 国内外での地域貢献活動

### プリンタの販売台数と連動した貢献活動を実施

OKIデータは、2009年11月から12月にかけて、「愛のかまど」活動を行いました。これは、室内で薪などのたき火による調理をしているインド、ケニアなど発展途上国の家庭に、プリンタの販売台数にあわせて高効率燃焼かまどを提供するもので、プリンタの販売に携わるビジネスパートナー各社の協力を得て実施されました。

室内のたき火での調理による空気汚染は多くの発展途上国において、調理をする女性や一緒にいる子どもに深刻な健康被害をもたらしています。高効率



ケニアの家庭に導入された高効率燃焼かまど

燃焼かまどの導入はこうした住民の健康改善に貢献するとともに、CO<sub>2</sub>排出量の削減にもつながることから、今後とも継続的に支援していく予定です。

## タイで環境保護のための植林を実施

OKIグループのタイの生産拠点では、現地社員が参加し、環境保護のための植林に継続的に取り組んでいます。2009年度は、7月にタイ北部のOKI Precision (Thailand)



タイ北部でのチークの植林

の社員250名が参加して地元ランブーン県に1,000本のチークの植林を実施しました。また、10月にはタイ中部のOKI Data Manufacturing (Thailand)の社員200名が、バンコク南部の海岸でマングローブ2,000本の植林を行いました。これらの活動は、地元の天然資源環境局や地域行政機構との協働によって行われており、継続的かつ着実な森林育成による地域貢献をめざしています。

## 子どもたちやお年寄りへの支援を継続

ブラジルのプリンタ販売会社 OKI Data do Brasilでは、人事部のサポートのもと、社員が地域貢献のための委員会を結成して、恵まれない子ども



社員がピエロなどに扮装して児童施設を慰問

たちやお年寄りの施設を継続的に支援しています。2009年度は地元の理容店との協働によるお年寄りの散髪サービスや、社員がピエロやサンタに扮しての児童施設慰問など、計5回の活動を行いました。

## 会社施設を開放し地域の皆様と交流

埼玉県蕨市のOKIシステムセンターでは、毎年11月に会社施設を近隣の皆様や社員の家族に開放し、「OKI蕨文化彩」を開催しています。2009年は、社



盲導犬のデモンストレーション

員有志のジャズバンドによるコンサート、フリーマーケットや地元の警察・消防署のご協力による防犯・防災コーナーなどのほか、新企画として「OKI愛の100円募金」で支援している日本盲導犬協会による盲導犬のデモンストレーションなども実施し、2,500名を超える皆様にご参加いただきました。